

府民ニーズ対応型リスクコミュニケーションを 丹後農業研究所で開催しました

平成27年9月1日
食の安心・安全推進課

平成27年8月26日（水）、京都生協から要望のあった「水稻の減農薬栽培」をテーマに食の安心・安全に関するリスクコミュニケーションを丹後農業研究所で開催しました。

研究内容の紹介やほ場見学の後、参加者と研究所職員との意見交換を行いました。

参加者の主な意見

- ・ 苗作りの省力化のため、直接種をまく技術の研究がされていることを知りました。高齢化が進むなか、省力化技術で長く米作りを続けていただきたいです。
- ・ 「温湯種子消毒法」の普及により減農薬栽培がしっかりとすすめられていることを実感しました。

記

- テーマ： 水稻の減農薬栽培
- 日 時： 平成27年8月26日（水）13時00分～15時00分
- 場 所： 農林水産技術センター農林センター丹後農業研究所
- 参加者： 府民10名
- 概 要：

【話題提供】



「水稻減農薬栽培の取組」

【意見交換会】



参加者・研究職員での意見交換

【研究所見学】



ほ場見学の様子



農業機具の見学

※アンケートの結果全ての参加者から施設見学、意見交換とも「わかりやすかった」との回答をいただきました。